

～1歳になるお子様の保護者の方へ～

MR(麻しん・風しん混合)1期予防接種のお知らせ

特に大事な予防接種です。

1歳になったらできるだけ早く、接種しましょう！

○対象期間：

1歳から2歳のお誕生日前日まで

○接種回数：

1回（※全2回のうち1回目）

○接種費用：

全額公費負担（無料）

○接種場所：

別紙の市内指定医療機関 または
本島内の地区医師会会員医療機関

（※接種前に予約を行い、
必ず親子（母子）健康手帳を
持参して下さい。）



■MR(麻しん・風しん)1期 予防接種 接種スケジュール



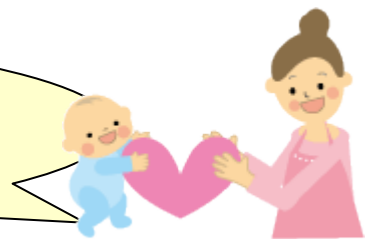
※今回は1回目の接種です！

※浦添市では2歳のお誕生日を過ぎても、行政措置で接種できる期間があります。

詳しくは保健相談センターへお問合せ下さい。

※麻しん、風しん両方の病気にかかったお子様は接種を受ける必要はありません。ただし、どちらか一方にかかったことがあるお子様は、MRワクチンを定期接種として接種可能です。

**麻しん・風しんの流行防止のためには、MRワクチンの
接種率が95%以上必要といわれています。
特に大事な予防接種です！**



※0歳で緊急避難的にMRワクチンを接種した場合は、母親からの移行抗体の影響で必ずしもワクチンの効果が期待できないことから、忘れずにMR1期（1歳児）とMR2期（小学校入学前1年間）の2回のMRワクチン（計3回）を受けましょう。

お問い合わせ先

浦添市保健相談センター（健康づくり課 予防係） TEL 098-875-2100

麻疹（はしか）ってどんな病気？

麻疹ウイルスの感染によって引き起こされ、空気感染します。感染力はウイルスの中で最も強く（インフルエンザの約10倍）、十分な免疫が無い場合ほぼ100%発病します。

潜伏期間は10-12日で、発熱、せき、鼻みず、くしゃみ、目やに、光をまぶしく感じる、倦怠感（こどもでは不機嫌）、などの症状がでます。38℃前後発熱が2-4日あり、一時的に解熱しますが、再び39～40℃の高熱（3-4日間）と発疹がでます。発疹がでるまえにみられるコプリック班（口の中、頬の裏側に出る白い小さな斑点）は麻疹に特徴的な症状です。合併症がない場合も、回復までに7-10日程度必要です。発病後の有効な治療方法や治療薬が無いため、ワクチン接種による予防が最も重要です。また麻疹は免疫機能低下を招き、合併症を起こしやすい病気です。主な合併症は、肺炎、中耳炎、脳炎などです。

根治療法がない！
（対症療法のみ）

感染力が強い！



ワクチンでの予防が効果的！

合併症をおこしやすい！

不顕性感染がほとんどない！
（感染すると、ほとんど症状が出る）

風しん（三日はしか）ってどんな病気？

風しんウイルスの感染によって引き起こされ、せきやくしゃみ等で感染します（飛沫感染）。

潜伏期間は2～3週間で、軽い風邪の症状から始まり、発疹、発熱、首のリンパ腺が腫れるといった症状が出ます。発疹も熱も2～3日で治ることから「三日はしか」とも呼ばれていますが、はしか（麻疹）とは異なる病気です。年少児のうちはおかかっても比較的軽い症状が多いですが、年長児や大人がかかると重症化になることが多いといわれています。

また、妊婦が妊娠初期に風しんにかかると、「先天性風しん症候群」という心臓病、白内障、聴力障害等のある赤ちゃんが生まれる可能性が高くなります。

妊婦と生まれてくる赤ちゃんを風しんから守るためにも、周りの人がしっかり予防する必要があります。

対処療法が基本！

感染力が強い！



妊婦さんは風しんの抗体が低くなっていることに気付いても、ワクチンを接種できません。周囲の人がしっかりワクチン接種を行うことで妊婦さんを感染から守りましょう！

出席停止の期間：（学校保健安全法施行規則第19条）

麻疹⇒**解熱後3日を経過するまで**

風しん⇒**発疹が消失するまで**

MRワクチンの副反応について

主な副反応は注射部位の発赤や発熱、発疹で、これらの症状の多くは1～3日で自然に治ります。

稀な副反応として、脳炎・脳症が100万～150万人に1人程度で報告されていますが、ワクチンとの因果関係が明らかでないものも含まれています。

接種後に気になる症状のある時は、早めにかかりつけの医師の診察を受けましょう。